

白井市第2次環境基本計画 達成状況 報告書

白井市市民環境經濟部環境課

目 次

- 1 評価手法について
- 2 白井市第2次環境基本計画の達成状況
- 3 結果を踏まえた新計画（白井市第3次環境基本計画）での取組

1 評価手法について

- ・白井市第2次環境基本計画（以下、第2次計画）は、平成24（2012）年度から令和2（2020）年度までの9年間を計画期間としていましたが、計画策定以降の社会情勢・環境状況の変化などに対応するとともに、平成28（2016）年度に開始となる白井市第5次総合計画との整合を図るため、平成27（2015）年度に見直しを行いました。
 - ・しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、新計画策定のための市民参加を実施できなかったことから、計画期間を1年間延長しました（令和2年10月21日の環境審議会で報告済）。
 - ・第2次計画では、市の環境基本条例に示された基本理念を踏まえ、市が目指す望ましい環境像として5つの分野に整理し、各施策を展開しました。
1. 豊かな自然を生かし、大切にすまち（自然環境分野）
 2. 市民の健康と快適な生活環境を守るまち（生活環境分野）
 3. 限られた資源・エネルギーを大切にすまち（資源循環分野）
 4. 環境を知り、環境に配慮したやさしいライフスタイルを実践すまち（環境保全分野）
 5. 地球環境の保全に貢献すまち（地球環境分野）

表 1 環境指標の評価の基準

| 環境指標 | 指標評価 |
|--|------|
| 環境指標の実績値が参考線を上回っている(達成している)場合、順調に進捗していると評価する。 | A |
| 環境指標の実績値が参考線を下回って(達成して)いないが、参考値から 20%以上乖離していない場合、概ね順調に進捗していると評価する。 | B |
| 環境指標の実績値が参考線を下回っており(達成しておらず)、かつ参考値から 20%以上乖離している場合、進捗が芳しくないとは評価する。 | C |
| その他・評価対象外(指標・目標が未設定、データ不足等) | - |

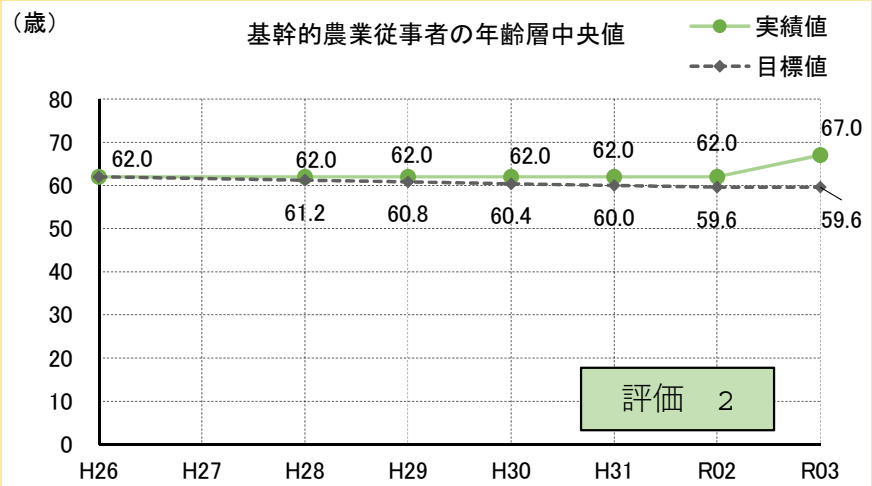
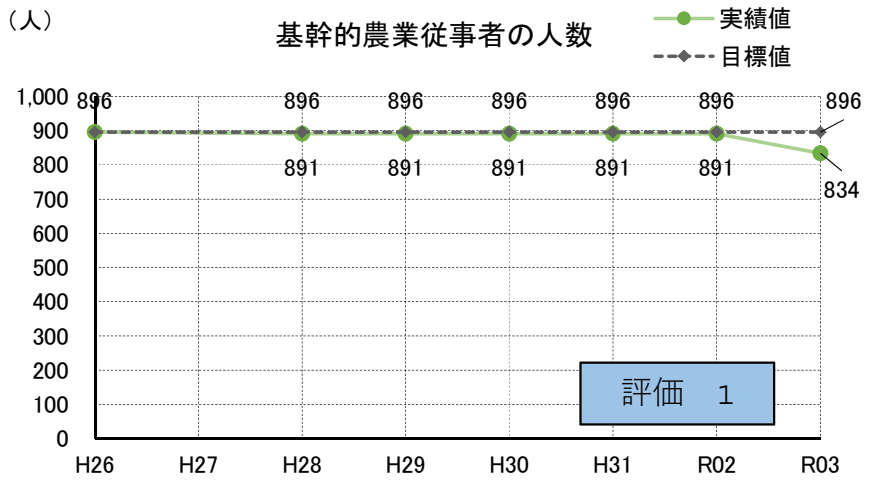
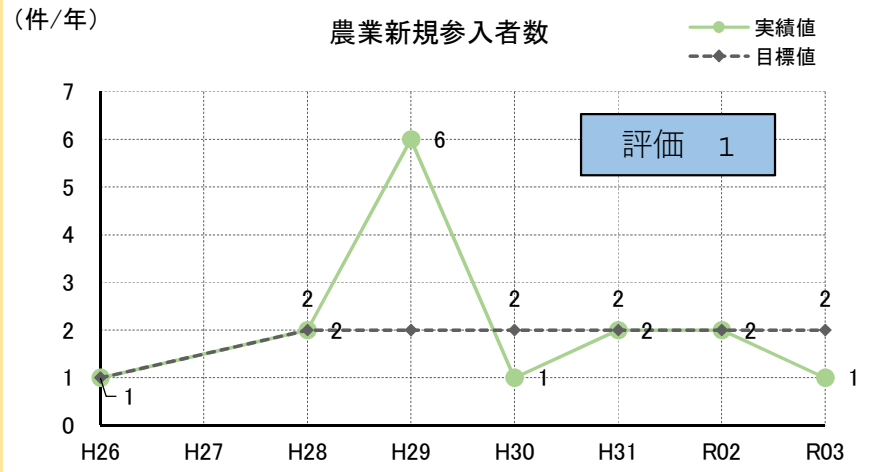
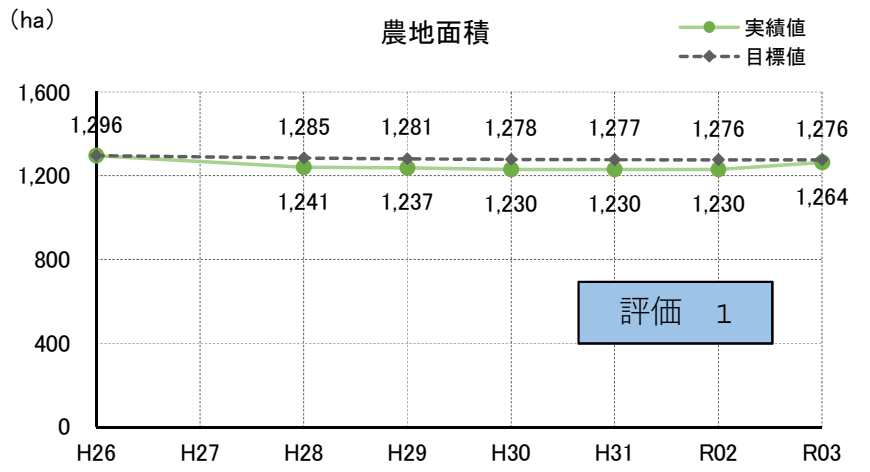
表 2 環境指標が複数の場合の評価の例

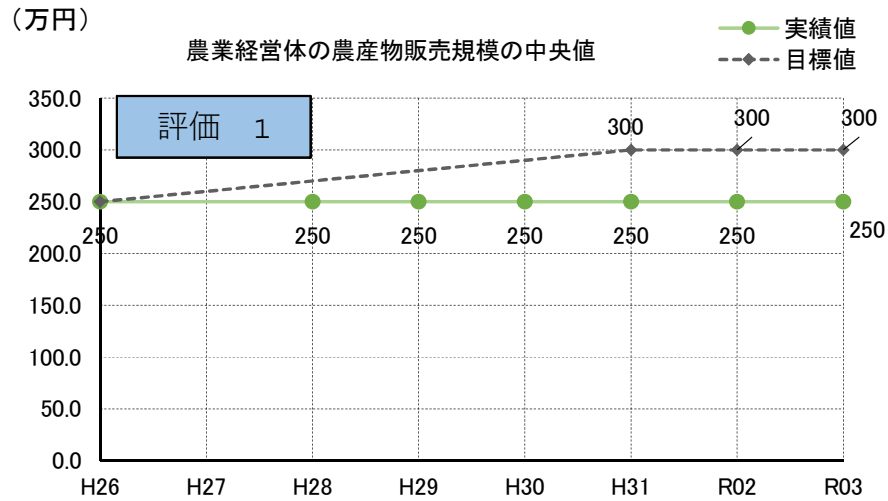
| 環境指標 | 指標評価 | 点数化の方法 | 点数化 | 指標全体の評価方法 | 指標全体の評価 |
|----------|------|--|-----|---|----------------------|
| △△△の件数 | A | A 評価 ⇒ 3 点 B 評価 ⇒ 2 点 C 評価 ⇒ 1 点 | 3 | 2.4 ≤ 平均値 ⇒ A 1.7 ≤ 平均値 < 2.4 ⇒ B 平均値 < 1.7 ⇒ C | (1+2+3)/3=2.0 ⇒ B |
| □□□の場所の数 | B | | 2 | | |
| 〇〇〇の値 | C | | 1 | | |

望ましい環境像1 豊かな自然を生かし、大切にすまち

1 農地を守ろう

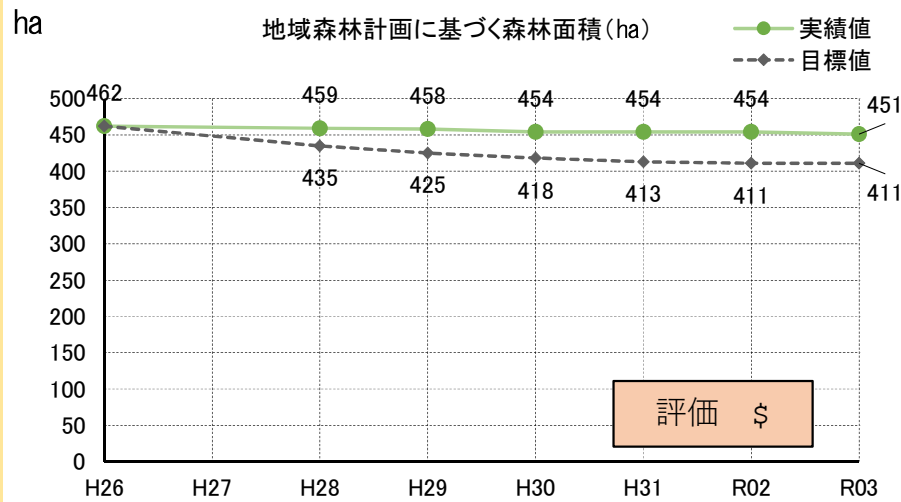
評価 1





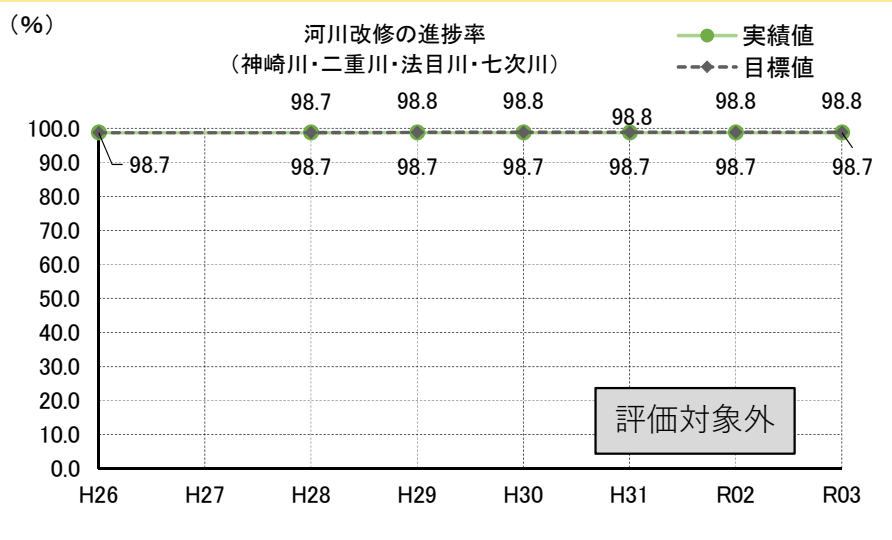
2 森林を守ろう

評価 \$



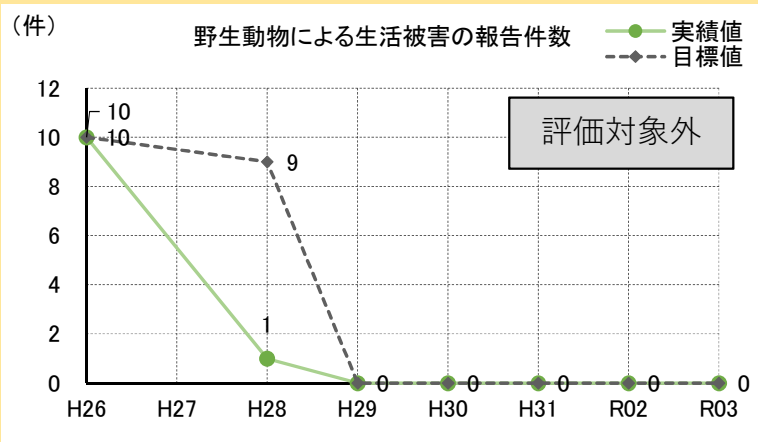
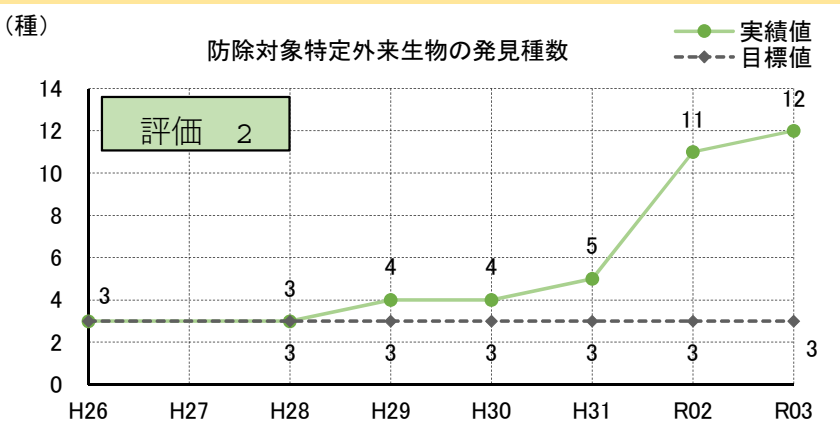
3 水辺を生きそう

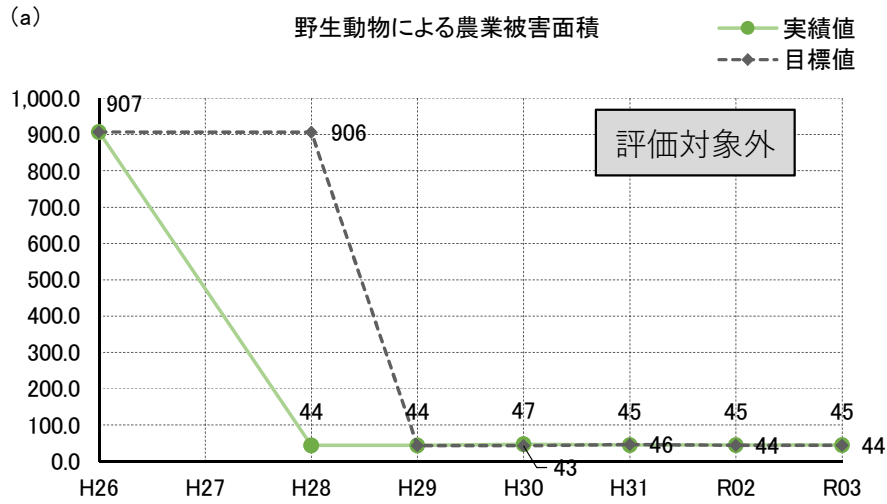
評価対象外



4 野生動物と共存・共生しよう

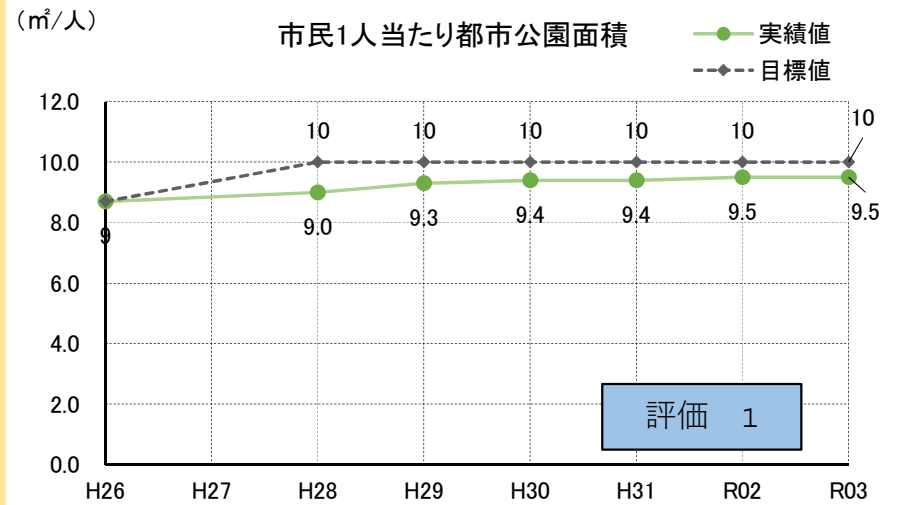
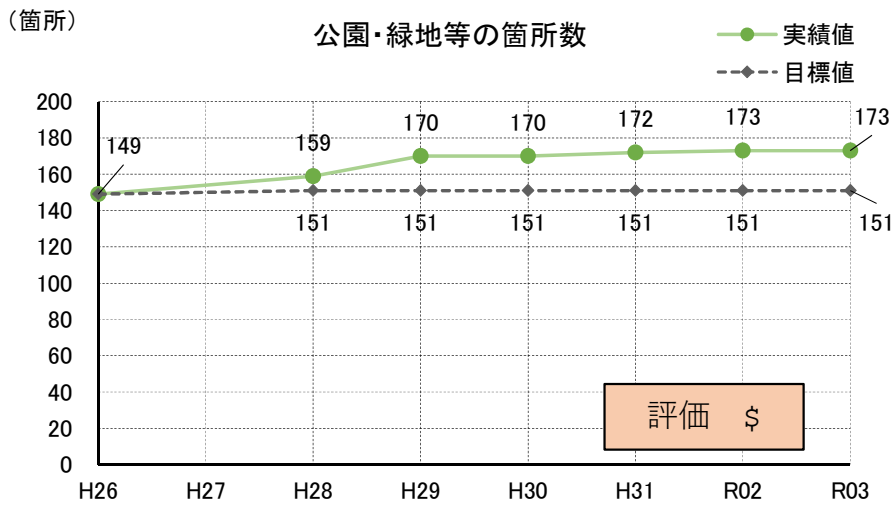
評価 2

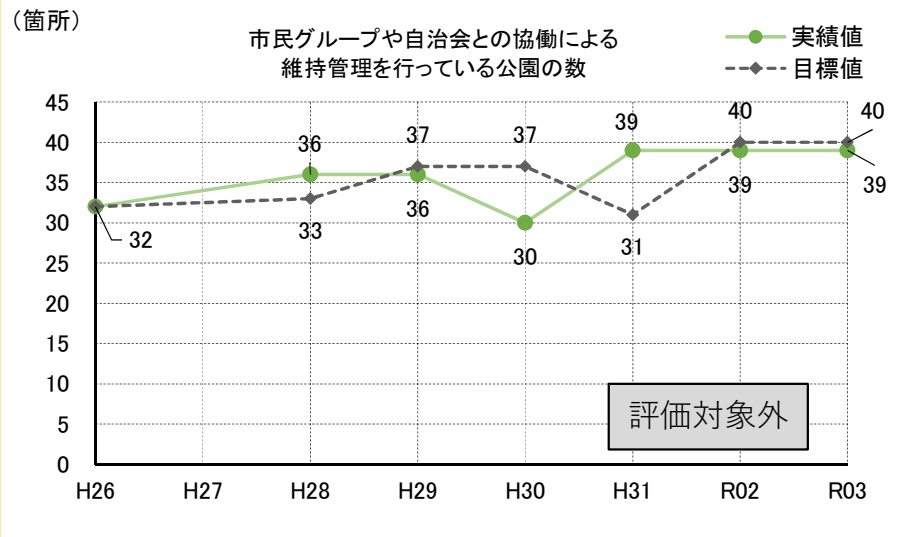




5 公園・緑地を増やし守ろう

評価 \$





総合評価 B

「地域森林計画に基づく森林面積」や「公園・緑地等の個所数」は目標を達成しており、また「市民一人当たり都市公園面積」も着実に増加していることから、緑に関する指標は概ね良好に推移している。
「防除対象外来生物の発見数」は基準年度から増加傾向にあり、対策が必要である。

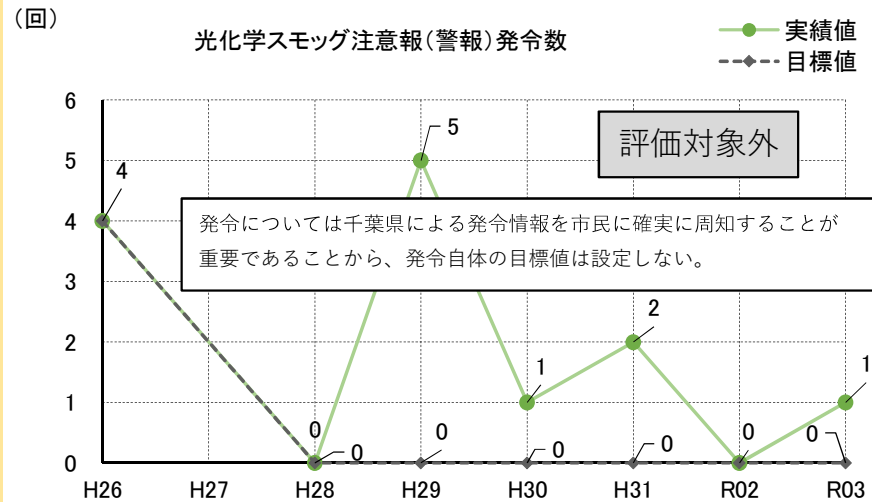
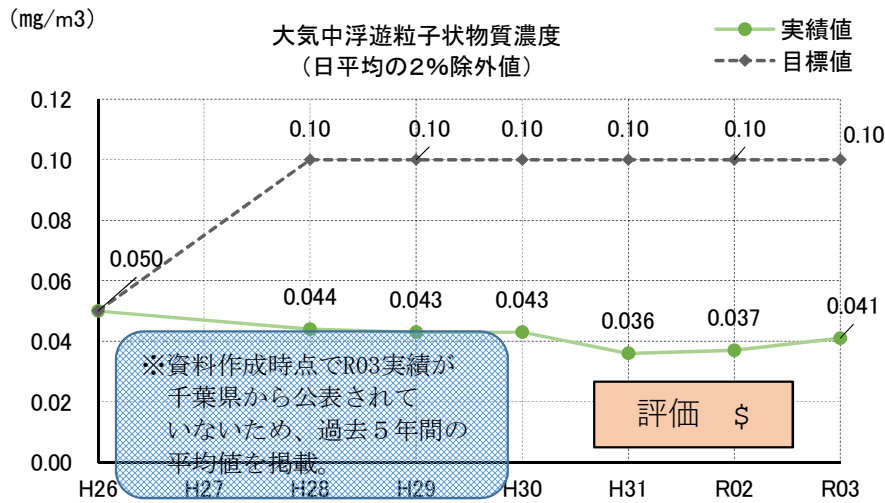
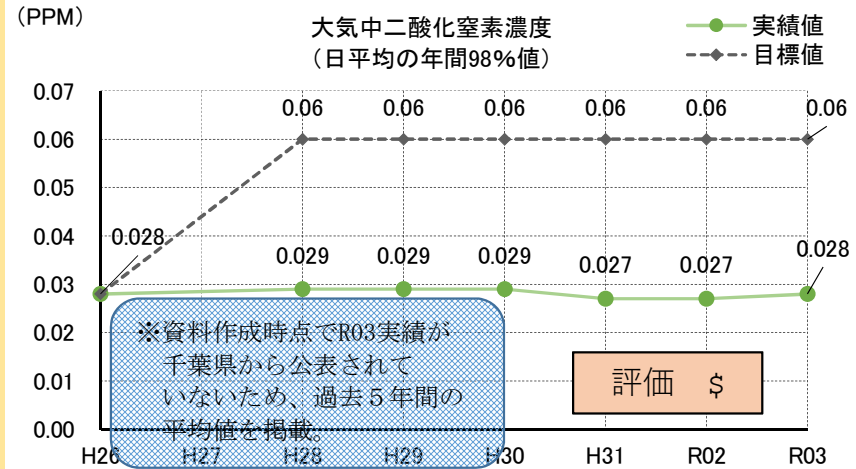
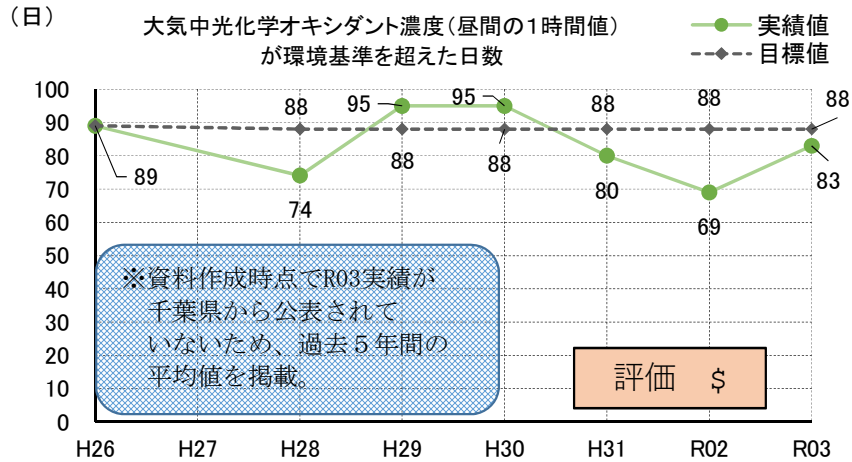
外部要因

地球温暖化により、農業や生態系への影響が懸念されている。

望ましい環境像2 市民の健康と快適な生活環境を守るまち

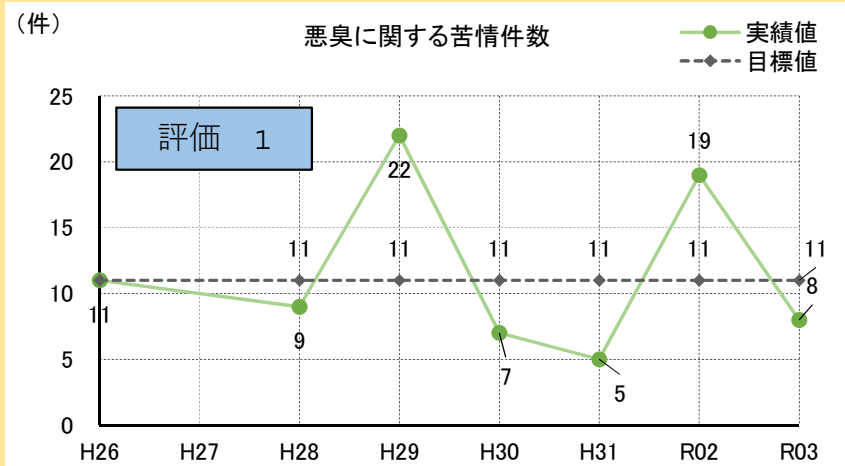
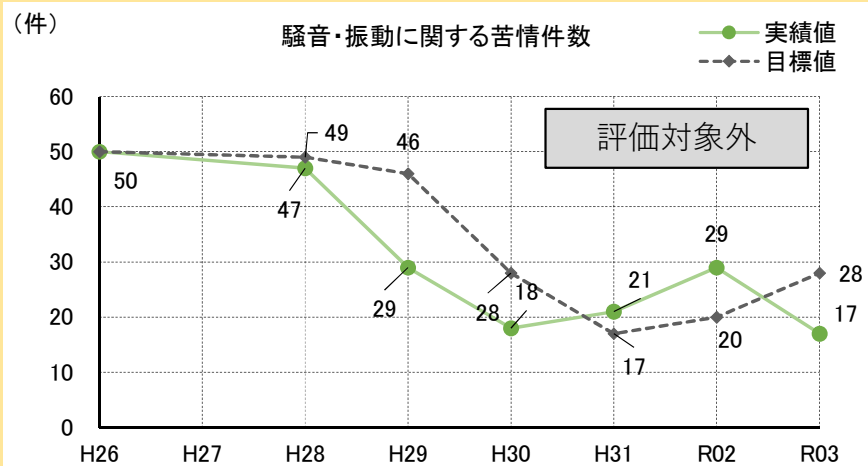
1 大気汚染を減らそう

評価 \$



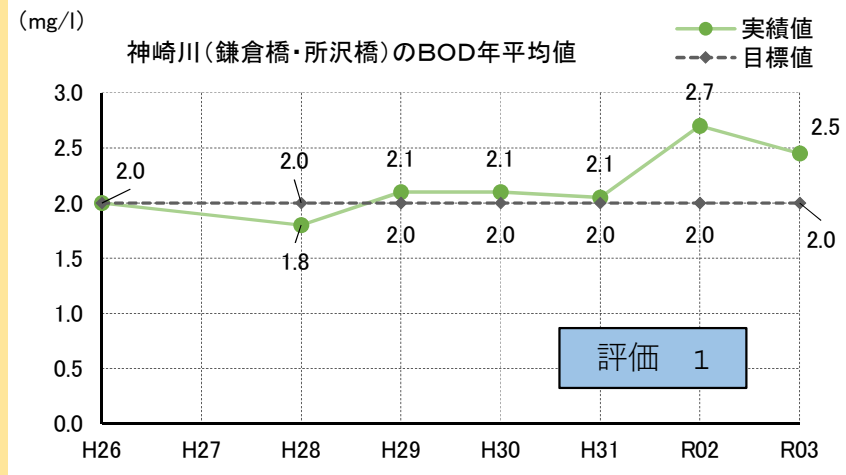
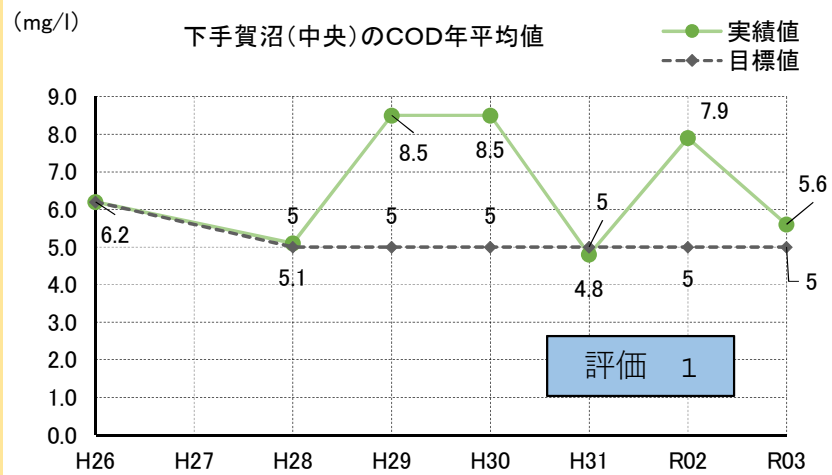
2 騒音・振動、悪臭を減らそう

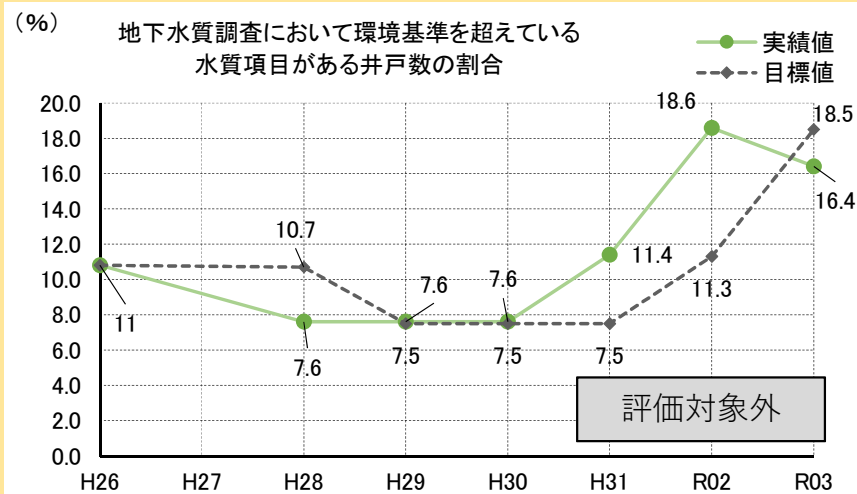
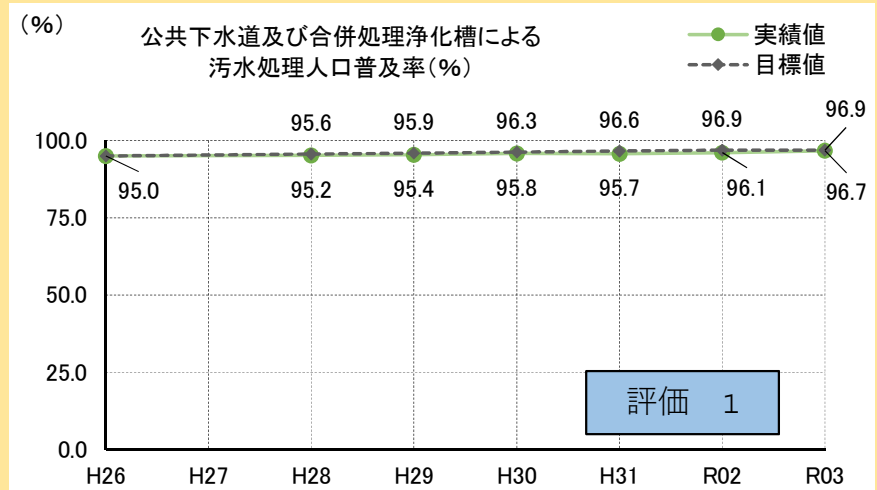
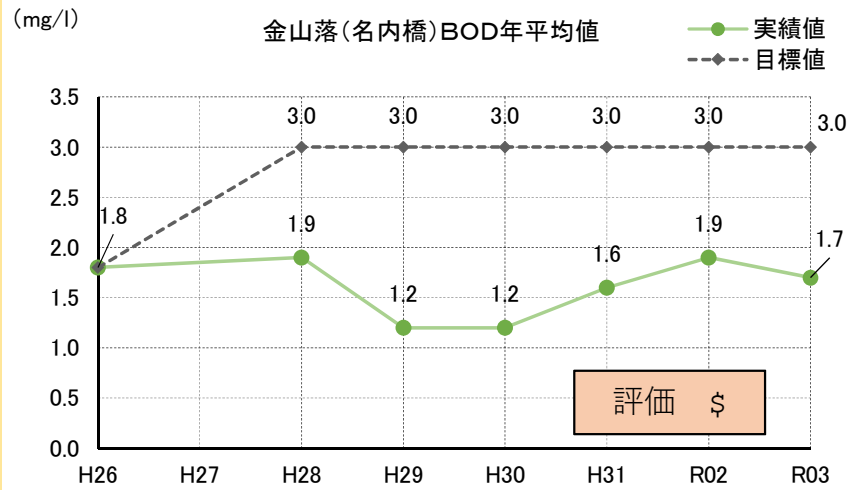
評価 1



3 水質を改善しよう

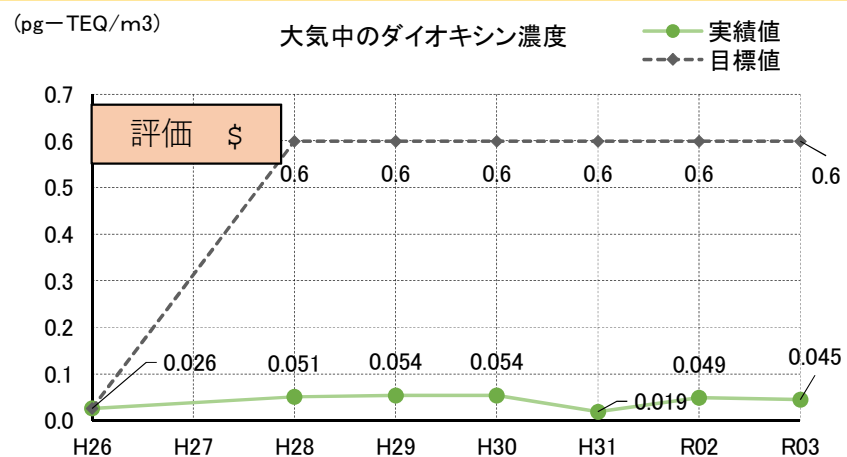
評価 1





4 有害物質による被害を防ごう

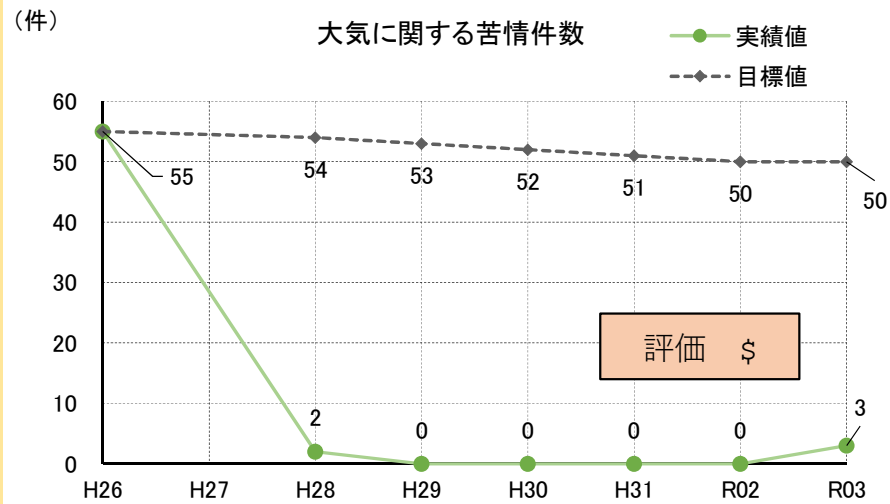
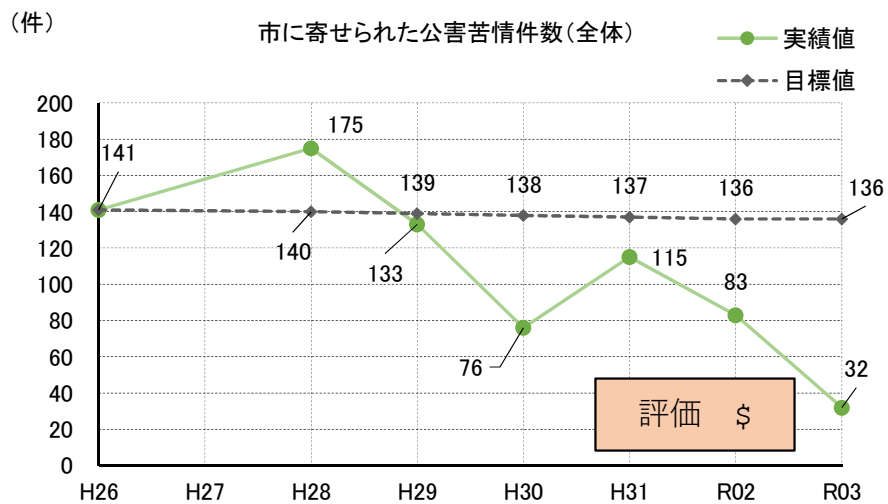
評価 \$

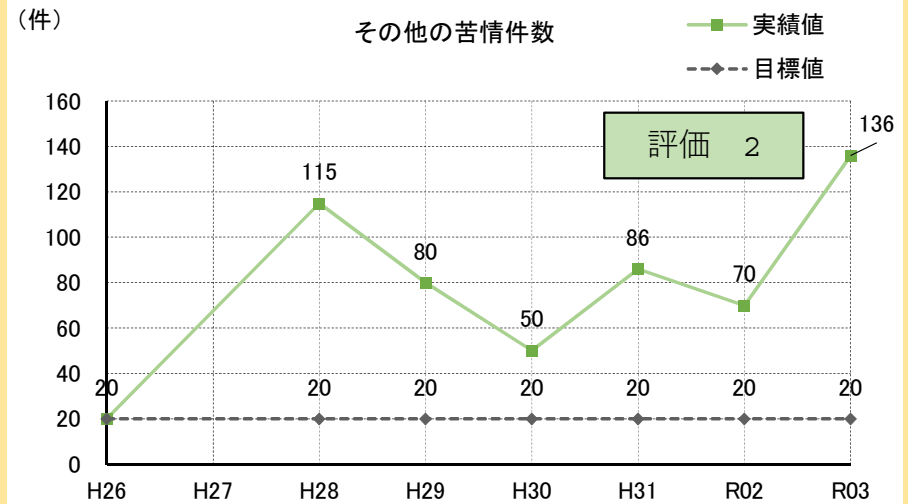
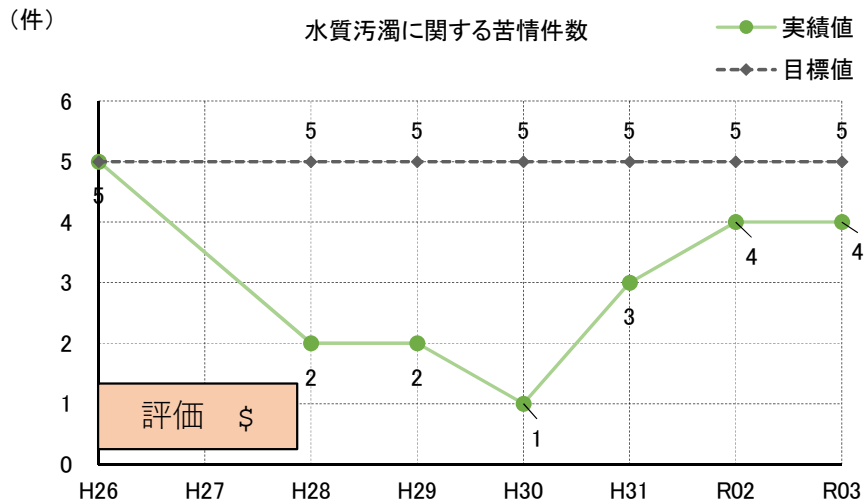
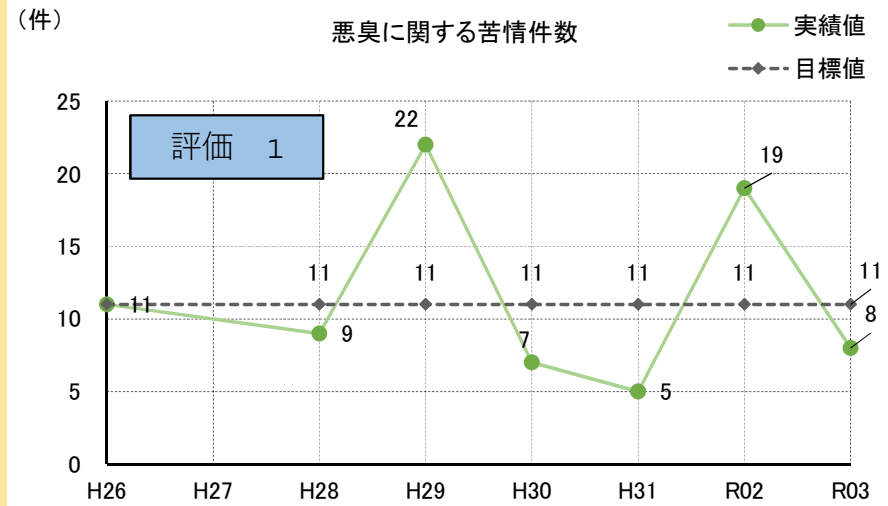
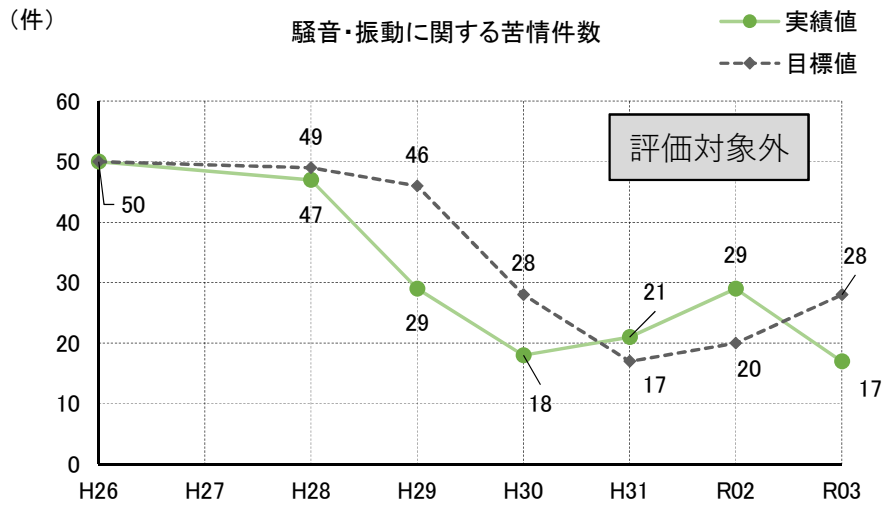


※資料作成時点でR03実績が千葉県から公表されていないため、過去5年間の平均値を掲載。

5 公害対策に市民の声を生かそう

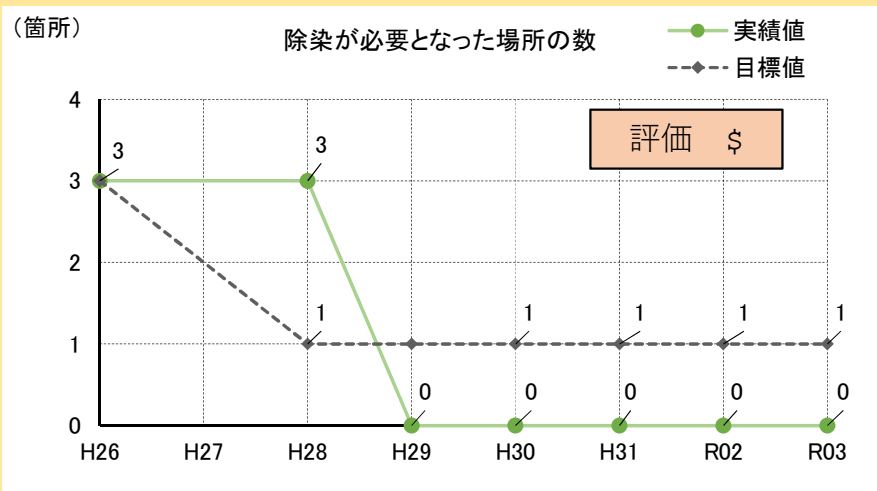
評価 \$





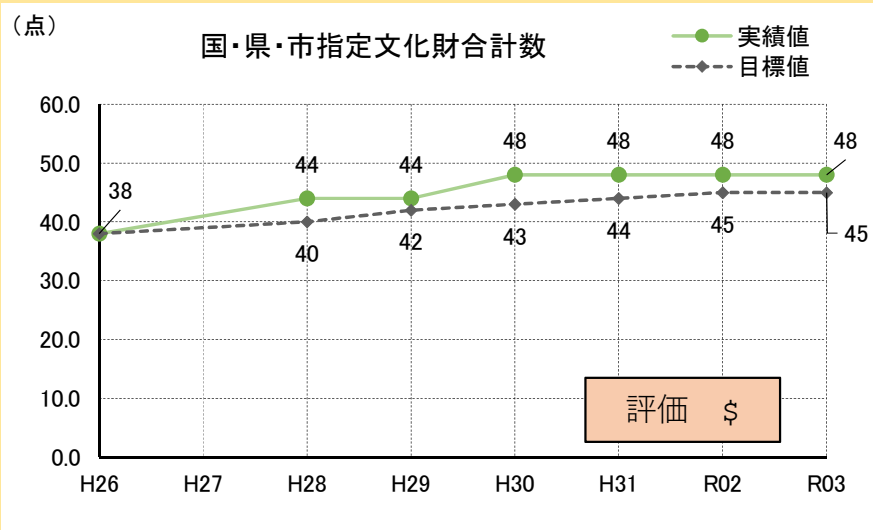
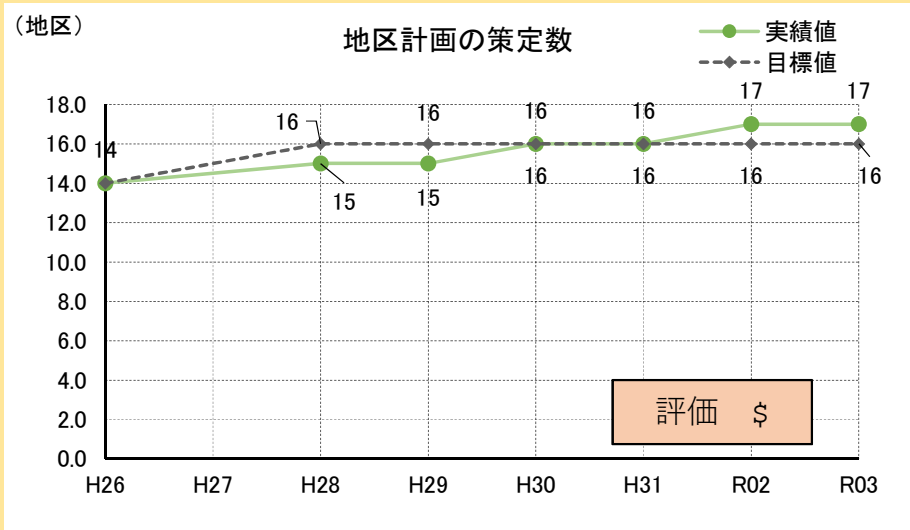
6 放射線を正しく知ろう

評価 \$



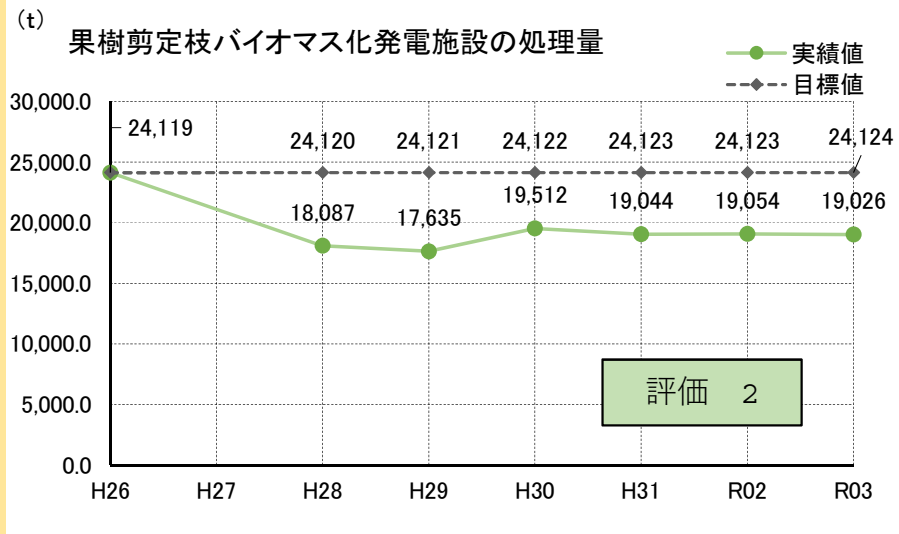
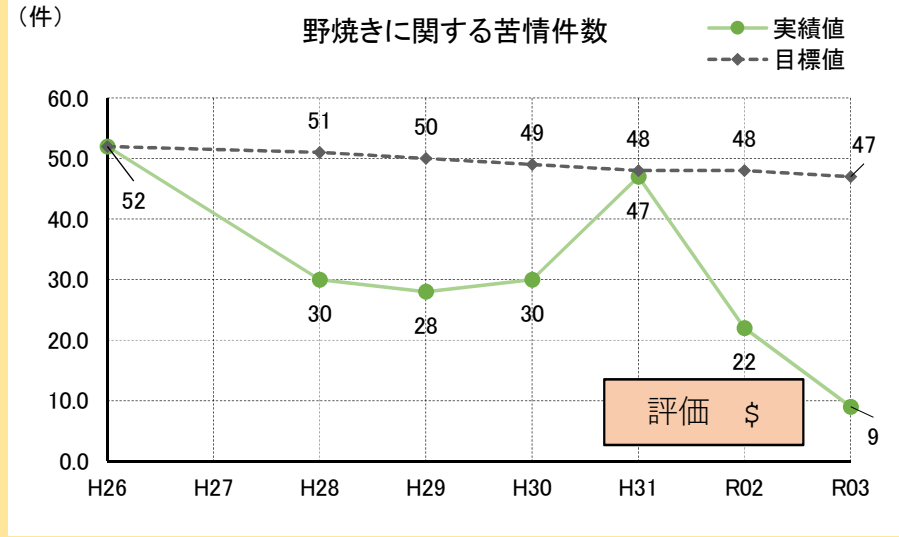
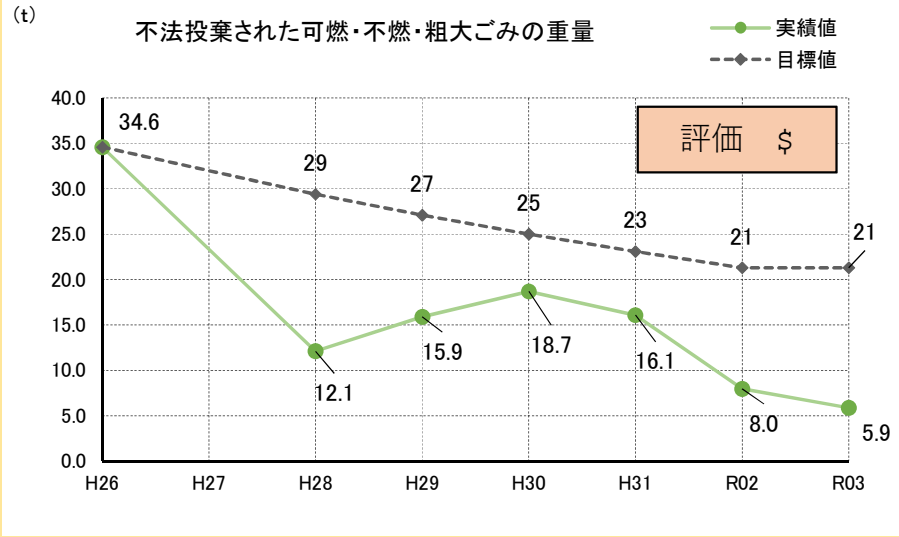
7 景観や文化財を守ろう

評価 \$



8 不法投棄や野焼きをなくそう

評価 1

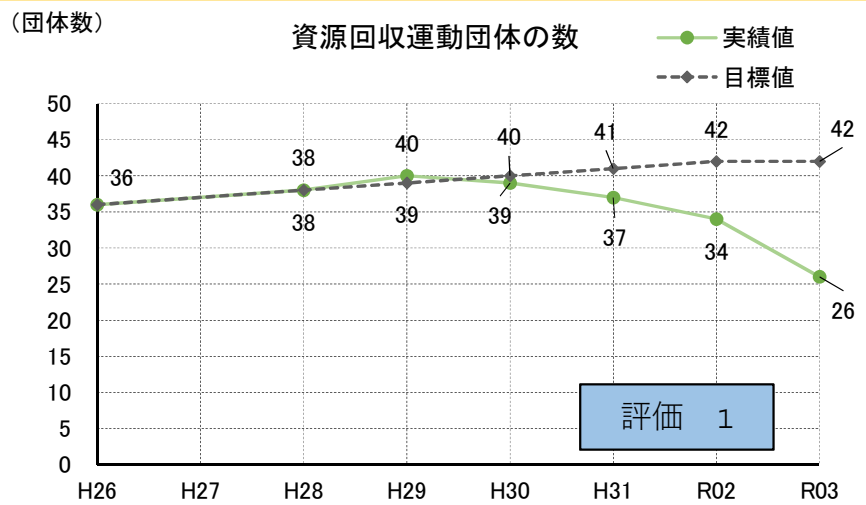
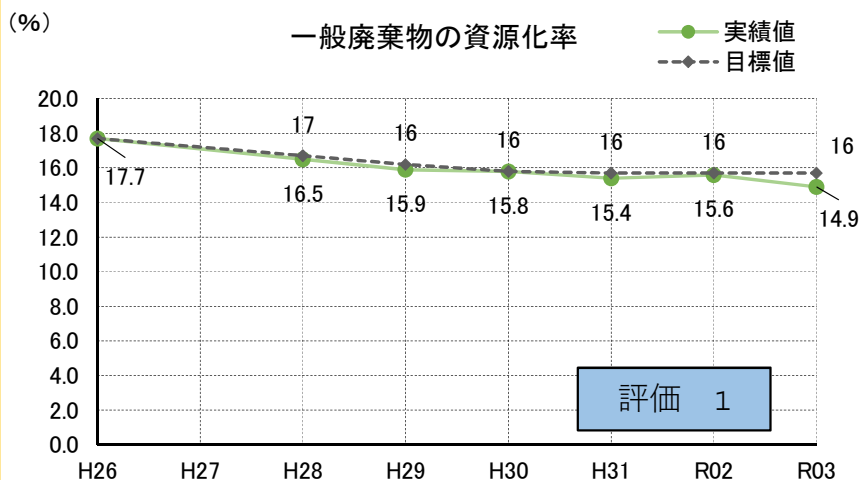
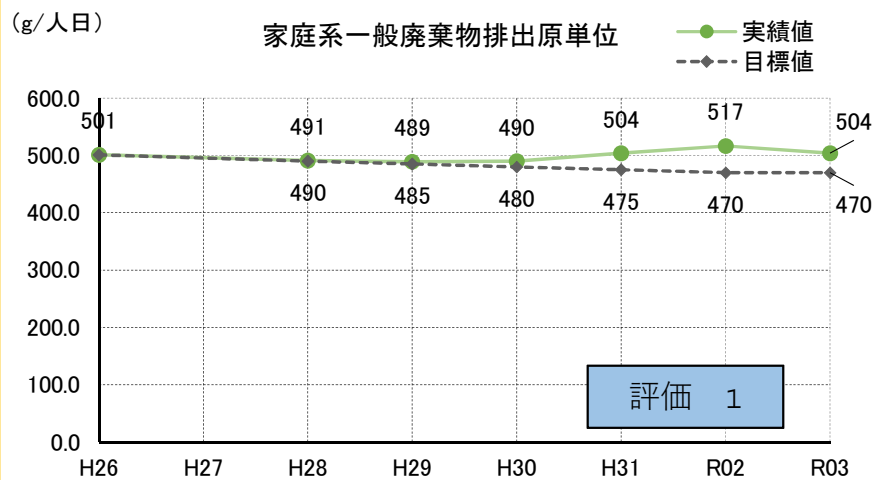


| | |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">総合評価 A</p> | <p>大気汚染について、「光化学オキシダント濃度が環境基準を超えた日数」「大気中二酸化窒素濃度」「大気中浮遊粒子状物質濃度」で目標値を達成している。</p> <p>苦情件数に関しては、その他を除く指標で目標値を達成している。</p> <p>「その他の苦情」については、平成30年度まで減少傾向にあるが、平成31年度は前年度から増加している。</p> <p>水質における指標は、目標を達成していない指標が他指標と比較して多く、さらなる取組が必要である。</p> <p>「ダイオキシン濃度」、「除染が必要となった場所の数」は目標値を達成している。</p> <p>また、景観については「地区計画の策定数」、「国・県・市指定文化財合計数」及び、不法投棄や野焼きに関する指標は目標値を達成している。</p> |
| <p style="text-align: center;">外部要因</p> | <p style="text-align: center;">—</p> |

望ましい環境像3 限られた資源・エネルギーを大切にすまち

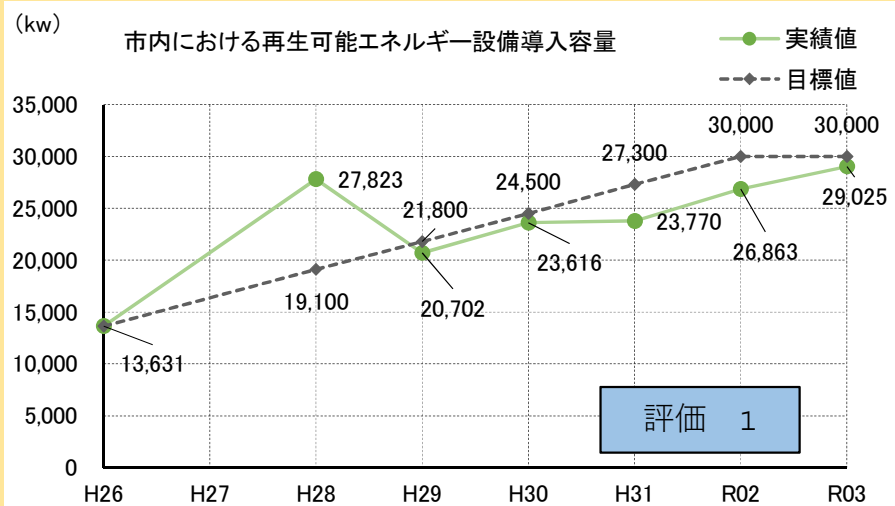
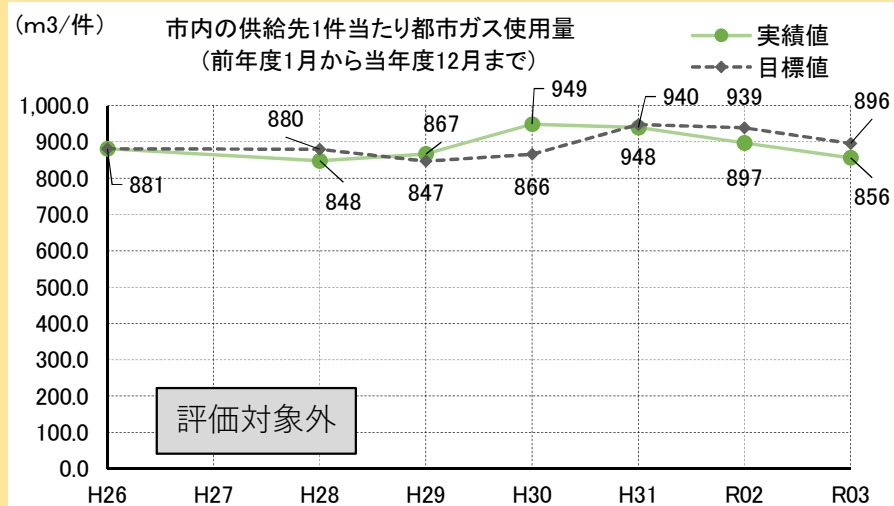
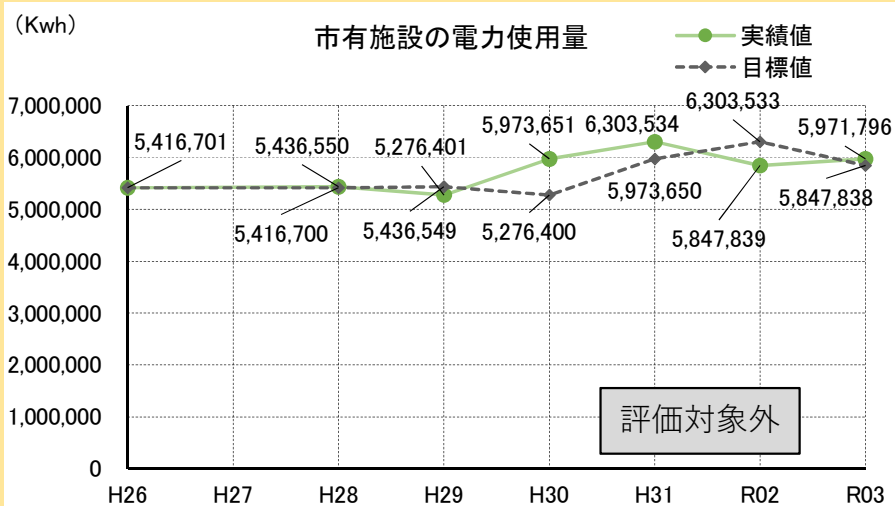
1 ごみを削減しよう

評価 1



2 エネルギーを有効に使う

評価 1

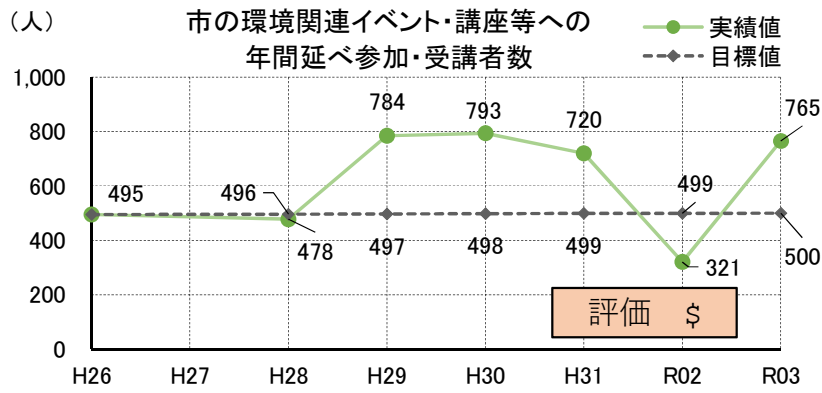


| | |
|----------------------|--|
| <p>総合評価 B</p> | <p>「家庭系一般廃棄物排出量原単位」、「一般廃棄物の資源化率」、「資源回収運動団体の数」は目標値を達成しておらず、さらなる取組が必要である。</p> <p>「市内における再生可能エネルギー設備導入容量」は平成26年度からみると増加傾向にあるが、目標値よりも下回っている。</p> |
| <p>外部要因</p> | <p>資源の集団回収は感染症の影響を考慮する必要がある。</p> |

望ましい環境像4 環境を知り環境に配慮したやさしいライフスタイルを実践するまち

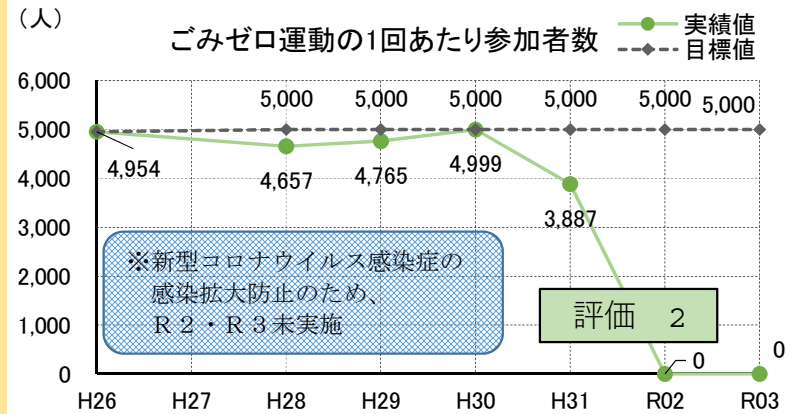
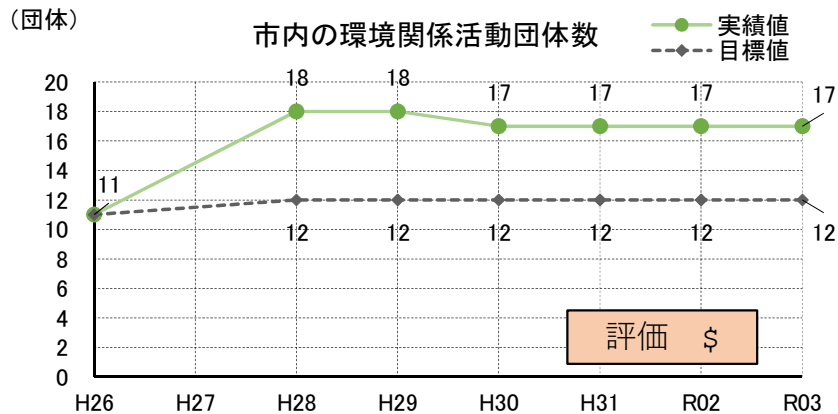
1 環境について学ぼう

評価 \$



2 環境保全活動に参加しよう

評価 1

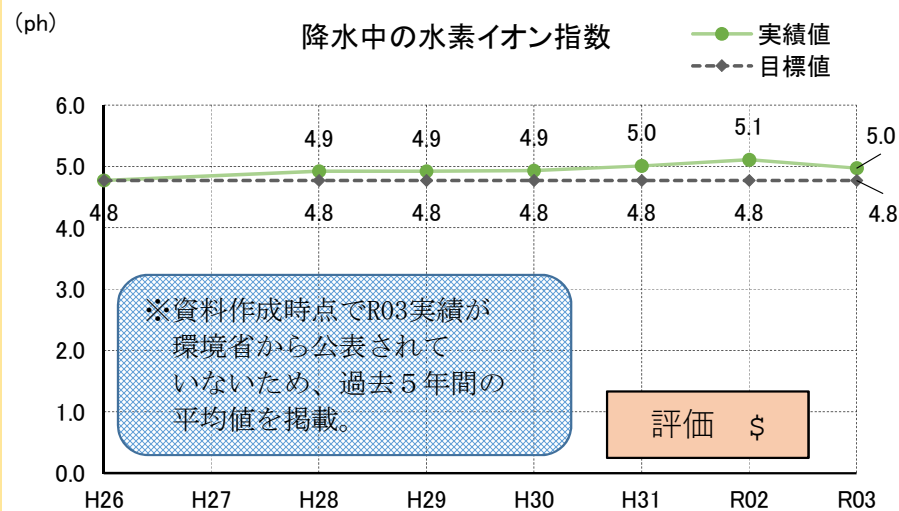
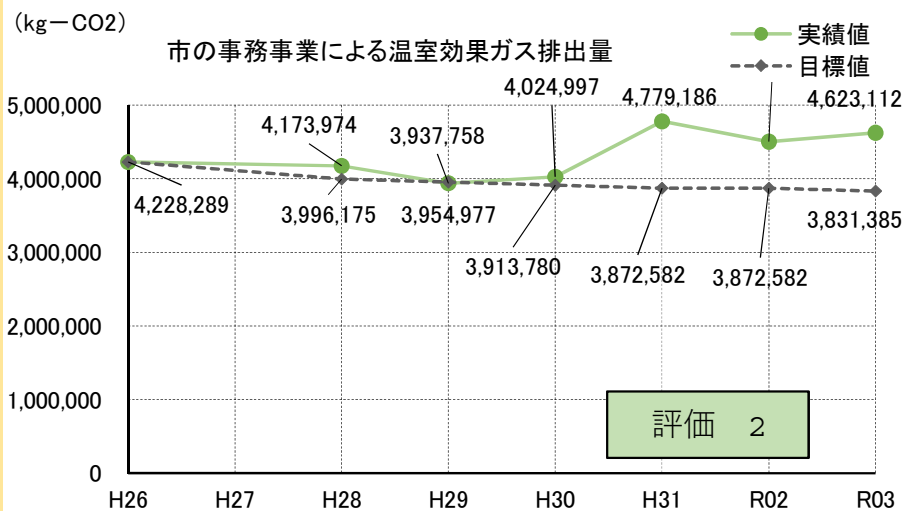


| | |
|----------------------|--|
| <p>総合評価 A</p> | <p>「市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数」「市内の環境関連団体数」は目標値を達成している。 「ごみゼロ運動の1回あたり参加者数」は目標値を達成できず、平成31年度は大きく減少した。 (※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度と令和3年度は未実施。)</p> |
| <p>外部要因</p> | <p>経済・社会・環境を一体的に考慮した環境配慮への取組が求められている。 感染症拡大のため、これまでどおりに対面での研修会や普及啓発等のイベントは実施が難しい状況である。</p> |

望ましい環境像5 地球環境の保全に貢献するまち

1 地球規模で環境を考えよう

評価 1



総合評価 B

「市の事務事業による温室効果ガス排出量」は減少傾向であったが、平成30年度以降増加に転じ、目標値を達成していない。
「降水中の水素イオン指数」は全て目標値を達成している。

外部要因

地球温暖化対策実行計画の目標実現や2050年までの「ゼロカーボンシティ」達成に向けて、より一層の地球温暖化対策が求められている。

| | | 個別評価 | 総合評価 | 総合評価 | 外部要因 |
|--|---|------|------|--|---|
| 豊かな自然を生かし、大切にすま | | | B | <p>「地域森林計画に基づく森林面積」や「公園・緑地等の個所数」は目標を達成しており、また「市民一人当たり都市公園面積」も着実に増加していることから、緑に関する指標は概ね良好に推移している。</p> <p>「防除対象外来生物の発見数」は基準年度から増加傾向にあり、対策が必要である。</p> | 地球温暖化により、農業や生態系への影響が懸念されている。 |
| 農地を守ろう | B | | | | |
| 森林を守ろう | A | | | | |
| 水辺を生かそう | — | | | | |
| 野生生物と共存・共生しよう | C | | | | |
| 公園・緑地を増やし守ろう | A | | | | |
| 市民の健康と快適な生活環境を守るま | | | A | <p>大気汚染について、「光化学オキシダント濃度が環境基準を超えた日数」「大気中二酸化窒素濃度」「大気中浮遊粒子状物質濃度」で目標値を達成している。</p> <p>苦情件数に関しては、その他を除く指標で目標値を達成している。</p> <p>「その他の苦情」については、平成30年度まで減少傾向にあるが、平成31年度は前年度から増加している。</p> <p>水質における指標は、目標を達成していない指標が他指標と比較して多く、さらなる取組が必要である。</p> <p>「ダイオキシン濃度」、「除染が必要となった場所の数」は目標値を達成している。</p> <p>また、景観については「地区計画の策定数」、「国・県・市指定文化財合計数」及び、不法投棄や野焼きに関する指標は目標値を達成している。</p> | — |
| 大気汚染を減らそう | A | | | | |
| 騒音・振動、悪臭を減らそう | B | | | | |
| 水質を改善しよう | B | | | | |
| 水質を改善しよう | A | | | | |
| 有害化学物質による被害を防ごう | A | | | | |
| 公害対策に市民の声を生かそう | A | | | | |
| 放射線を正しく知ろう | A | | | | |
| 景観や文化財を守ろう | A | | | | |
| 不法投棄や野焼きをなくそう | B | | | | |
| 限られた資源・エネルギーを大切にすま | | | B | <p>「家庭系一般廃棄物排出量原単位」、「一般廃棄物の資源化率」、「資源回収運動団体の数」は目標値を達成しておらず、さらなる取組が必要である。</p> <p>「市内における再生可能エネルギー設備導入容量」は平成26年度からみると増加傾向にあるが、目標値よりも下回っている。</p> | 資源の集団回収は感染症の影響を考慮する必要がある。 |
| ごみを削減しよう | B | | | | |
| エネルギーを有効に使う | B | | | | |
| 環境を知り、環境に配慮したやさしいライフスタイルを 実践するま | | | A | <p>「市の環境関連イベント・講座等への年間延べ参加・受講者数」「市内の環境関連団体数」は目標値を達成している。</p> <p>「ごみゼロ運動の1回あたり参加者数」は目標値を達成できず、平成31年度は大きく減少した。</p> <p>(※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年度と令和3年度は未実施)</p> | <p>経済・社会・環境を一体的に考慮した環境配慮への取組が求められている。</p> <p>感染症拡大のため、これまでどおりに対面での研修会や普及啓発等のイベントは実施が難しい状況である。</p> |
| 環境について学ぼう | A | | | | |
| 環境保全活動に参加しよう | A | | | | |
| 地球環境の保全に貢献するま | | | B | <p>「市の事務事業による温室効果ガス排出量」は減少傾向であったが、平成30年度以降増加に転じ、目標値を達成していない。</p> <p>「降水中の水素イオン指数」は全て目標値を達成している。</p> | 地球温暖化対策実行計画の目標実現や2050年までの「ゼロカーボンシティ」達成に向けて、より一層の地球温暖化対策が求められている。 |
| 地球規模で環境を考えよう | B | | | | |

3 結果を踏まえた新計画（白井市第3次環境基本計画）での取組

- ・第2次計画では、白井市環境基本条例に基づく基本理念や、5つの望ましい環境像の実現に向けて、市の特色を活かしながら展開する各種施策に取り組み、「生活環境」と「環境保全」の分野では概ね目標を達成できましたが、「自然環境」「資源循環」「地球環境」の分野では、未達成の項目があったため、対策を講じて目標達成に向けて取り組む必要があります。
- ・新計画（白井市第3次環境基本計画）では、計画策定時（令和2年度時点）の現状を把握し、アンケート調査や地区意見交換会などの市民参加を踏まえた上で新計画を策定し、市の環境政策の基本的な指針を示す普遍的な「基本理念」に基づいて計画を推進します。
- ・また、市の目指す姿を共有し、計画の着実な推進につなげていくため、基本理念を踏まえた上、新たに環境の将来像「良好な環境を未来につなぐ 持続可能なまち」を設定し、市民・市民団体・事業者・行政の連携・協働により計画を推進し、良好な環境を未来につなぎ、市民が住み続けられる持続可能なまちを目指します。
- ・併せて、第2次計画での「望ましい環境像」を新計画では「基本目標」とし、SDGsで定められている17のゴールの内、関連性の高いゴールと整理することで、併せて各施策に取り組みます。

【基本理念】※詳細は新計画の13ページ（第3章 白井市の環境の将来像）

- 1 健全で良好な環境を維持・継承します
- 2 環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築します
- 3 人と自然が共生し、多様な自然環境を保全します
- 4 地球環境の保全をすすめます

※詳細は新計画の16・17ページ（施策展開の体系）

1. 豊かな自然を生かし、大切にすまち（自然環境分野）

→ 基本目標1 自然環境 豊かな自然と人が共生するまち



2. 市民の健康と快適な生活環境を守るまち（生活環境）

→ 基本目標3 生活環境 安全・安心を維持し、快適に住み続けられるまち



3. 限られた資源・エネルギーを大切にすまち（資源循環）

→ 基本目標4 資源循環 ごみを減らし、資源の循環に取り組むまち



4. 環境を知り、環境に配慮したやさしいライフスタイルを実践するまち（環境保全）

→ 基本目標5 環境保全 環境にやさしいライフスタイルを広げるまち



5. 地球環境の保全に貢献するまち（地球環境）

→ 基本目標2 地球環境 地球温暖化対策に取り組み、気候変動に備えるまち

